

令和7年度 第2回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

開催日	令和7年7月24日（木曜日）	時間	15:30～17:00
会場	元気創造プラザ4階 学習室3	傍聴人数	0人
出席者	助友委員、寺田委員、吉田委員、苔口委員、安中委員、高柳委員、相原委員、溝口委員、大鶴委員、坂下委員、牛山委員		
欠席者	國澤委員、鈴木委員、屋敷委員		
行政	大朝スポーツと文化部長、平山スポーツと文化部調整担当部長、市橋スポーツ推進担当課長、福田スポーツ推進課主査、山口スポーツ推進課主事		
内容	<p>1 開会あいさつ（助友会長）</p> <p>(1) 大朝スポーツと文化部長より委任状受諾（牛山委員）</p> <p>2 開会（事務局）</p> <p>(1) 委員出席状況について</p> <p>委員の出席状況は、委員定数14人のうち11人の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。</p> <p>(2) 傍聴希望について</p> <p>市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。本日は、現時点で傍聴の希望はないが、希望があった場合、条例に基づき入場いただく。</p> <p>(3) 会議録の作成と公開について</p> <p>三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。</p> <p>3 議題に係る各委員からの意見等</p> <p>(1) スポーツ推進計画2027【素案】について</p> <p>吉田委員：「スポーツフェスティバル・駅伝等のスポーツ協会及び地域スポーツクラブとの連携事業の参加者数」について、関与してきた立場から補足する。スポーツフェスティバルは元気創造プラザを使用しているが、利用可能人数に上限があるため、目標値である5万人から7万人など大幅に増加させることは難しい状況である。駅伝大会についても、警察や安全協会など関係機関の配置数の関係から、参加可能チーム数は200チームが上限であり、これ以上増やすことは困難である。コロナ前は200チーム以上の参加があったが、コロナ後は抽選を行う状況には至っておらず、参加数は完全には回復していない。また、市民と話す中で、コロナ前は井の頭公園を定期的に走っていたが、コロナ後は走らなくなったという声も聞かれた。現在、参加者数は目標値である5万人にほぼ近い数値を達成していることから、施設規模や事業規模を踏まえ、今後は現状維持を基本に事業を展開していくことが望ましいと考えている。</p> <p>助友委員：市民の運動状態の低下に加え、地域活動やコミュニティ活動自体も減少</p>		

内 容	<p>しているのではないかと。今後対策していかなければいけない。</p> <p>苔口委員：スポーツサポーターズの登録について、一度登録するとその後は継続される運用となっているのか。</p> <p>平山調整担当部長：継続のための手続きはなく、退会しないと在籍し続ける運用方法となっている。なお、活動を前提として登録している制度である。</p> <p>溝口委員：スポーツサポーターズについて、その役割が十分に認知されておらず、私を含め知らない人がほとんどであるため、周知の強化が重要である。</p> <p>平山調整担当部長：スポーツサポーターズの主な役割は、三鷹市が主催・後援するスポーツイベントや関係団体等のスポーツイベントの企画・運営をサポートすることである。募集人数の多いイベントとしては、駅伝大会やスポーツフェスティバルがあり、直近ではポッチャみたかカップに約 20 名の応募があった。また、スポーツ協会関係では、市民大会において選手受付や計測の補助等を行っていただいている。登録は市のホームページから可能であり、参加者には三鷹地域ポイントを付与している。</p> <p>溝口委員：スポーツイベント・教室等参加者数については、すべての参加人数だけでなく、イベント・教室の実施数と各教室の参加者数を重視すべきである。初めて実施するイベントでは 100 人集まっても、翌年度には 70 人に減少する可能性があるため、年度ごとに打ち出し、個々のイベントごとに状況を分析し、対策を講じることが重要である。新規参加者の獲得よりも、リピーターを増やす方がコストはかからないことから、継続して参加したくなる特典や仕組みを設けるべきである。</p> <p>相原委員：「タッタカくん！ウォーク&ラン」アプリの登録者数について、策定時から登録者数は増加しているものの、目標値には達していない。今後どのような取組を行っていくのか。</p> <p>市橋担当課長：今年度は定期的にイベントを開催しており、来年度はさらに興味を引くイベントを定期的実施する予定である。あわせて、アプリを知ってもらい、ダウンロードしてもらうための周知方法についても日々検討しているところである。</p> <p>大朝部長：目標値である 1 万人は簡単に達成できる数値ではないが、自治体として予算をかけてアプリを管理・運用している以上、イベントや仕掛けを継続的に実施し、利用者を増やしていく必要があるため設定した。また、歩数計測の利便性向上や速度制限対応など、日々改修やメンテナンスを行っている。</p> <p>牛山委員：スポーツ推進計画に記載されている「スポーツを行わない理由」の調査結果について、場所や施設がないことを理由に挙げている人がいることから、学校開放や施設利用に関する周知が不足しているのではないかと。SNS やホームページの活用が重要である。</p> <p>助友委員：若い世代に対するアプローチは行っているのか。</p> <p>平山調整担当部長：「タッタカくん！スポーツニュース (X)」のアカウントで情報発信を行っているが、フォロワー数は 1,000 人未満であり、定期的に発信することで増加を図っている。また、市公式 LINE は登録者数が多く、若い世代に対しても影響力があることから、情報を把握しやすい環境づくりを進</p>
-----	---

<p>内 容</p>	<p>めている。</p> <p>寺田委員：高齢者やアプリ操作に不慣れな人にも分かりやすい説明や、お知らせの工夫が必要である。</p> <p>市橋担当課長：通知をオフにしている場合、お知らせはアプリを開かないと届かない仕様となっているため、周知についてはある程度限界があると感じている。</p> <p>溝口委員：アプリの利用促進にはインセンティブが重要であり、例えば人を誘って登録すると三鷹地域ポイントが付与される仕組みや、スポーツイベント会場で登録した場合に追加ポイントを付与するなどの施策を検討するのはどうか。</p> <p>市橋担当課長：アプリのユーザー数を増やしたい理由は、スポーツ実施率の向上につなげることにあるため、ポイント目的で登録した利用者が、実際に歩くようになるための工夫が必要である。</p> <p>溝口委員：継続利用のためには、毎日アプリを立ち上げたくなる仕組みづくりが重要である。例えばラジオ体操のようにログインするとスタンプが貯まるスタンプカード形式の仕組みであったり、アプリを開くとイベントのお知らせをしてくれるような仕組みがあると良いと思う。</p> <p>(2) デフリンピックを通じた障がい者スポーツの普及と障がいの理解の推進について</p> <p>大朝部長：デフリンピック女子バレーボール日本代表の試合当日にバス3台を用意し、三鷹市民に向けたバスツアーを予定している。その際に市内の手話通訳者団体からバスの中で参加者にサインエールを教えてもらい、会場での応援に活用したいと考えている。三鷹ゆかりのアスリートである狩野美雪さんが監督を務めるので、できるだけ多くの三鷹市民の方を周知したいと考えている。周知方法や必要なイベントについて助言を伺いたい。</p> <p>溝口委員：三鷹市ではInstagramは活用しているのか。</p> <p>大朝部長：Instagramを活用している部署もあるが、スポーツ推進課では活用していない。</p> <p>市橋担当課長：補足だが、9月23日が「手話言語の国際デー」ということもあるので、バスツアーについては障がい者支援課の手話の記事と合わせて、9月21日発行の市の広報で大々的に掲載する予定である。</p> <p>溝口委員：市でInstagramのアカウントを作り、三鷹市民の方にフォローいただくと特典がもらえる仕組みを利用するのはどうか。市のアカウントにサインエールの動画を投稿すると、会場で市のアカウントの投稿からサインエールのやり方をすぐ確認することができる。実際に狩野美雪監督にサインエールをやっていただいた動画を投稿するのも周知の面から効果的であると考える。また、試合当日までに、三鷹市役所の職員の皆様にもサインエールをやっていただき、サインエールをしている動画を部署ごとに順番に投稿するなど継続的に繰り返し動画をアップすることで、コストをかけずに効果的な周知ができるのではないかと。</p> <p>大朝部長：市ではプッシュ型のLINEをはじめ、広く周知できるSNSのアカウントができた。しかし、LINEはもともと自分で設定した市民の方限定となってい</p>
------------	---

内 容	<p>るので、市のアカウントとつながりのない方にも情報提供できる可能性がある Instagram についても検討していきたい。</p> <p>4 報告</p> <p>(1) 事業予定</p> <p>8月5日(火) 子ども運動チャレンジ教室 2025</p> <p>8月20日(水) 兵庫県たつの市姉妹都市提携25周年記念事業</p> <p>(2) スポーツ推進審議会日程</p> <p>第3回 令和7年10月24日(金)</p> <p>5 閉会あいさつ(寺田副会長)</p>
-----	---